

# 学年の目標の趣旨は何か

## <1・2年生の目標>

目標の下線部分は新たに追加された文言

(1) 自分と身近な人々及び地域の様々な場所、公共物などのかかわりに関心を持ち、地域のよさに気付き、愛着をもつことができるようにするとともに、集団や社会の一員として自分の役割や行動の仕方について考え、安全で適切な行動ができるようにする。

### ア 地域のよさに気付き、愛着をもつ

身近な人々や場所、公共物などに慣れ親しみ、それらに心がひかれ、離れがたく感じることで、地域の人々及び地域の様々な場所、公共物などと直接かかわる活動や体験を通してはぐくまれる。

### イ 安全で適切な行動ができる

- (ア) 自分の思いや願いをもって接することができる。
- (イ) 相手や場所の様子、状況を考えて接したり扱ったりすることができる。
- (ウ) 人や場所、ものなどに親しみ、大切にすることができる。
- (エ) 健康や安全に気を付けたり、きまりなど日常生活に必要なことを大切にしたりして行動することができる。
- (オ) 自分のよさや友達のよさを出し合って行動することができる。

(2) 自分と身近な動物や植物など自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気付き、自然を大切にしたり、自分たちの遊びや生活を工夫したりすることができるようにする。

### ア 身近な自然

児童の身の回りにおいて、児童自身と関係の深いもの。

- (ア) 動物や植物
- (イ) 自然の事物や現象
- (ウ) 季節による様々な自然の変化 など

自然の美しさや巧みさ、自然の不思議さや面白さなどの自然の素晴らしさに気付くようにする。

- ・ 気付きとともに、かかわり合う楽しさを体全体で感じ取れるようにする。



- ・ 自然を大切にする心が育つようにすることが大切である。

### イ 自然を利用した遊び

- (ア) 児童が素直にかかわっていくことができるもの。
- (イ) 対象への働きかけ方や友達との協力の仕方など様々なことを学ぶことができるもの。
- (ウ) 児童の創造的な発想や工夫が生かされ、遊びや生活が豊かになるもの。

(3) 身近な人々，社会及び自然とのかかわりを深めることを通して，自分のよさや可能性に気づき，意欲と自信をもって生活することができるようにする。

ア **かかわりを深める**

人や社会と繰り返しかかわる中で，対象に働きかけ，対象から働き返されながら，相互に交流し合い，互いにかかわりを深めること。

イ **自分のよさや可能性に気づく**

人や社会，自然の特徴や性質などへの気づきを通して，心身の成長，自分らしさなどの自分のよさや可能性に気づくこと。



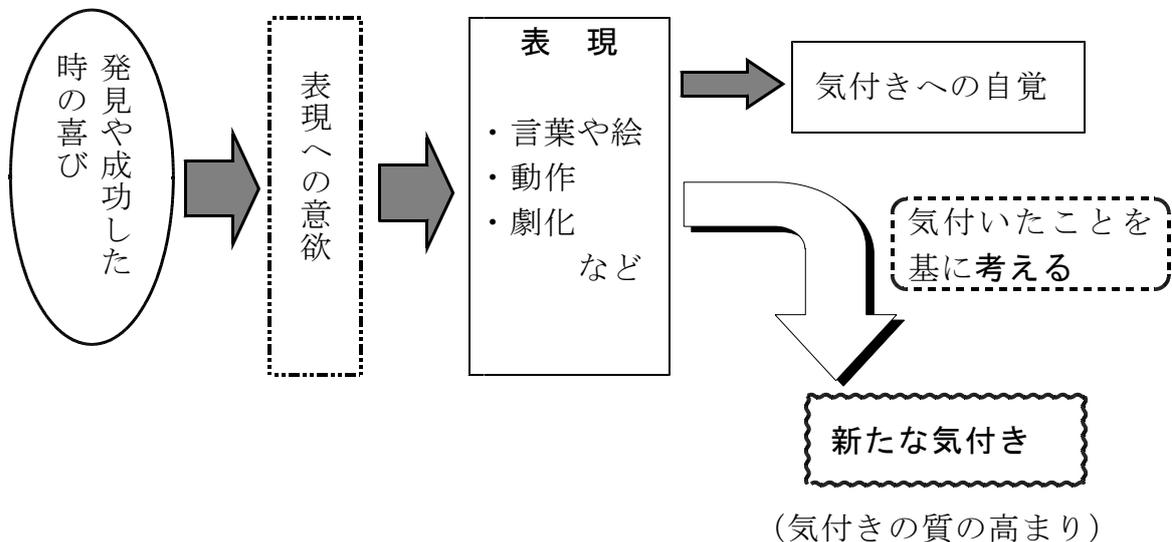
自覚することで，更なる成長への期待をもち，将来への夢を膨らませる。

(4) 身近な人々，社会及び自然に関する活動の楽しさを味わうとともに，それらを通して気付いたことや楽しかったことなどについて，言葉，絵，動作，劇化などの方法により表現し，考えることができるようにする。

ア **活動**

・見る ・聞く ・触れる ・作る ・探す ・育てる ・遊ぶ など

イ **表現し考える**



※ 直接働きかける活動と表現する活動とを関連させて取り扱うことが肝要であり，そこに低学年の発達に見られる思考と表現の一体化が現れる。